

サステイナブルでインクルーシブな社会に向けて： 自然の多様な価値のあり方を考える

2022年10月11日（火）

15:00～18:00

東京大学柏図書館 メディアホール / ウェビナー

～ 本シンポジウムでは、自然、特に生物多様性の多様な価値について議論することを通じて、サステイナブルでインクルーシブな社会のあり方を模索します ～

国際シンポジウム

サステイナブルでインクルーシブな社会に向けて： 自然の多様な価値のあり方を考える

日時：2022年10月11日（火）15:00～18:00

会場：東京大学柏図書館 メディアホール

同時配信：ウェビナー（URLは後日ご案内します）

言語：英語／日本語（同時通訳あり）

基調講演：

ウナイ・パスカル

バスク気候変動研究所、教授

生物多様性および生態系サービスに関する政府間科学－
政策プラットフォーム（IPBES）価値評価報告書、議長



ラケル・グールド

ヴァーモント大学、准教授



参加費：無料

参加方法：事前申込制（10月10日締切り）
下記のURLからご登録ください。

URL：<https://forms.gle/itqbgdfybfFtiE4U8>

会場参加は、東京大学構成員（学生・教員）に限らせていただきます。

先着50名を超えた場合、または新型コロナ感染拡大によりオンライン限定開催になった場合には、オンライン参加のURLをご案内します。

※プログラムは変更される可能性があります。ご了承ください。



プログラム

オープニング

15:00-15:10 開会の挨拶 林香里 東京大学 理事

15:10-15:15 センター紹介 亀山康子 SSDC センター長

15:15-15:20 シンポジウム主旨説明

福永真弓 東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授

第一部：

生物多様性の政策現場より：多様な自然の価値の評価の可能性の模索

15:20-15:40 IPBESの「価値評価報告書」の概要について（TBD）

ウナイ・パスカル バスク気候変動研究所 教授

15:40-15:55 多様な価値の評価の手法について（TBD）

ラケル・グールド ヴァーモント大学 准教授

15:55-16:10 多様で複数の価値の社会実装の現場より：

グレナダ生態系評価を実例として

石原広恵 SSDC 准教授

16:10-16:25 （休憩）

第二部：多様な自然の価値を利用した地域振興のあり方

16:25-16:45 福井県池田町における取り組み

溝口淳 池田町 副町長

16:45-17:05 しまんと流域農業プロジェクトの取り組み

梅原真 梅原デザイン事務所 代表

17:05-17:10 （休憩）

第三部：パネルディスカッション

17:10-17:50 パネルディスカッション

ファシリテータ：福永真弓 新領域創成科学研究科 准教授

パネリスト：※第一部、第二部の講演者に加え、次の方々にご登壇いただきます。

味埜俊 東京カレッジ 副カレッジ長

神井弘之 政策研究大学院大学政策研究院 参与・シニアフェロー

橋本禪 農学生命科学研究科 准教授

吉田有紀 国立環境研究所 研究員

17:50-17:55 閉会の挨拶 出口敦 新領域創成科学研究科 研究科長

司会：張潤森 SSDC 准教授



主催：サステイナブル社会デザインセンタ
共催：東京大学大学院新領域創成科学研究科 / 東京カレッジ

